

湊川相野学園 19 ニュース No.

発行:2016年6月
湊川相野学園理事長室会

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川短期大学「チャリティーお茶会」

学友会メンバーが被災地に気持ちを届けようと募金箱を持って朝・夕玄関に立っていることに賛同された浅井理事長の発案により、茶道を教えている池田先生、雪野先生、高山先生そして茶道部のみなさんが5月10日(火)チャリティーのお茶会を開いて下さいました。湊川の学生、教職員は日頃からお茶に親しんでいるので募金活動にもはずみがつきました。みなさん相客だけでなく遠く熊本・大分の方を思いながら寂かにお茶をいただきました。



湊川短期大学「新入生歓迎会」



5月7日(土)に開催された「新入生歓迎会〜プチ運動会〜」は、その名の通り4月に入学したばかりの新入生にスポットを当てた行事で200人以上の参加者が集まりました。狙い通り新入生の参加が多く、まだ短大生活にも慣れていないということもあり不安もあったと思いますが、二年生はそんな新入生と上手く協力し合いながら競技に取り組んでいて、最後には全員一体となったプチ運動会を楽しむことができました。



北摂中央幼稚園「田植え体験」



5月16日(月)午前10時過ぎより波豆川地区との交流活動で年長100名とお手伝いの保護者約30名が曇り空の中、「こしひかり」の苗を植えました。園児は田んぼに入った感触に戸惑いつつもロープに沿って後ずさりしながら一人3株ずつ植え、終わった後は保護者に体についた泥を落としてもらいました。事前に頂いていた波豆川産のお米で作った「塩おにぎり」をみんなで食べました。参加された保護者も田植え体験が初めての人が多く興味深々で田んぼに入り、残りの苗を植えて下さいました。秋には稲刈りの収穫、冬には保護者向けのしめ縄作り体験もさせていただく予定です。



湊川短期大学

「キャリア教育センター・地域連携センターをシステムアップ」

昨年まで、短大生の進路指導、就職指導は学生部の進路指導グループが担当してきましたが、今年からはキャリア教育センターが担当することになりました。多くの大学が「就職課」を「キャリアセンター」と衣替えさせていますが、湊川短期大学では、単に表札を変えるだけでなく、プログラムの中身を一新しました。キャリア教育の考え方は、学生が就職するためのテクニックを学ぶのではなく、自分の人生について自ら学び考え、一生学び続け、キャリアアップを続ける「構え」を養うことを目指しています。そのために全教職員が支援・協力する仕組みを作りました。また、学生が学びと今後の活躍の場を意識することによって充実した仕事につながると考え、地域の課題にも取り組む構えを持つよう指導します。これを担うのが地域連携センターで、二つのセンターのスタッフは同じ事務所で互いに協力しています。

